

平成26年3月18日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 ^{みやた}宮田 ^{りょうへい}亮平）は、平成26年3月18日（火）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに154件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、9,751件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

| | 新規登録 | 累 計 |
|-------|------------------------|---------------------------|
| 登 録 数 | 154件 23都道府県43市町村（区） | 9,751件 47都道府県824市町村（区） |

○時 代 別

| | 江戸以前 | 明 治 | 大 正 | 昭 和 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規登録 | 33 | 48 | 25 | 48 | 154 |
| 累 計 | 1,677 | 3,175 | 2,031 | 2,868 | 9,751 |

○種 別

| | 産 業 | | | 交通 | 官公 庁舎 | 学校 | 生活 関連 | 文化 福祉 | 住宅 | 宗教 | 治山 治水 | 他 | 計 |
|-----|-----|-----|-------|-----|----------|-----|----------|----------|-------|-------|----------|----|-------|
| | 1次 | 2次 | 3次 | | | | | | | | | | |
| 新 規 | 0 | 28 | 27 | 0 | 1 | 3 | 0 | 4 | 59 | 26 | 6 | 0 | 154 |
| 累 計 | 111 | 952 | 1,257 | 377 | 184 | 306 | 310 | 300 | 4,421 | 1,279 | 185 | 69 | 9,751 |

| | 建 築 物 | 土木構造物 | その他の工作物 | 計 |
|------|-------|-------|---------|-------|
| 新規登録 | 123 | 6 | 25 | 154 |
| 累 計 | 7,652 | 550 | 1,549 | 9,751 |

2. 主な事例

① 歓楽街の中に重厚な屋敷構えをみせる上質な住宅

遠藤家住宅主屋ほか 北海道札幌市

材木商を営んだ遠藤家の住宅。札幌軟石と煉瓦の塀で囲まれた敷地に、主屋、煉瓦蔵、石蔵などを建てる。主屋は正面に玄関を構え、洗練された造作の和風座敷や洋風意匠の応接室を、庭園に面して配置する。歓楽街すすきのの一角に位置し、大正期のたたずまいを伝える上質な近代和風建築である。

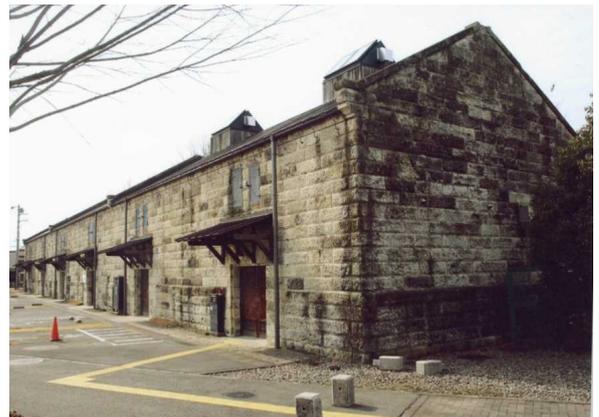


② 製麻産業の隆盛を物語る石蔵

鹿沼市文化活動交流館石蔵（旧帝国繊維石蔵）

栃木県鹿沼市

大正初期に建てられた、もと製麻工場の石蔵。桁行55mを測る長大な規模で、壁体の下部に近隣産の深岩石を、上部には大谷石を積み、キングポストトラスの小屋を架ける。製麻産業で栄えた歴史を象徴する石蔵で、現在は鹿沼市が周辺に美術館等を併設し「鹿沼市文化ゾーン」の施設として活用される。



③ 尾張徳川家の明治期本邸正面を飾る建築群

徳川園黒門ほか 愛知県名古屋市

尾張徳川家大曾根屋敷の跡地が明治33年に徳川家の本邸として整えられ、現在は徳川園及び徳川美術館として公開されている。黒門は、柱などに太いケヤキを使う重厚な門で、左右に塀を接続し、北側に脇長屋を従える。堂々とした容姿で、徳川園の正門として、黒門の愛称で親しまれる。



提供：名古屋市教育委員会

④ 寺社建築の伝統意匠を取り入れた教会建築

カトリック豊中教会聖堂及びヨゼフ館ほか 大阪府豊中市

昭和14年に建てられた教会建築で、聖堂の端部に玄関のある鐘塔を建て、ヨゼフ館を併設する。屋根を入母屋造として鐘塔に高欄をめぐらし、内部では丸太柱を立てて格天井を張り、さらに祭壇上の天井を折上格天井とするなど、寺社建築の意匠を積極的に取り入れた、木造和風教会の好例である。司祭館をあわせて登録する。



提供：豊中市教育委員会

⑤ 神戸市の国土保全を担う六甲山系最大規模の砂防堰堤

五助堰堤 兵庫県神戸市

昭和13年の阪神大水害ののちに内務省により計画され、建設省の直轄工事で同32年に竣工した。住吉川の上流五助谷の狭窄部に位置する。重力式コンクリート造堰堤の本堰堤は、表面を花崗岩積とし、堤長78m、堤高30mと、六甲山系砂防施設における最大規模を誇る堰堤である。

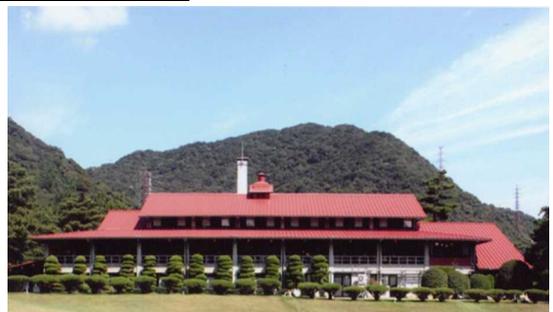


撮影：六甲砂防事務所

⑥ モダニズム建築に和風意匠を取り入れたゴルフ場施設

門司ゴルフ倶楽部クラブハウス南棟ほか 福岡県北九州市

県内最古のゴルフ場に、昭和35年に建てられたクラブハウス。開放的で水平線を強調した外観をもち、内部は打放しコンクリートの躯体で大空間を確保し、丸太材の小屋を組む。レーモンド建築設計事務所の作風が遺憾なく発揮されたモダニズム建築である。



| 名 称 | 所在地 | 建設年代 | 特 徴 等 | 種 別 | 基 準 | |
|---|-----------|-------------------|---|-----|------|---|
| 遠藤家住宅主屋 | 北海道札幌市 | T8頃/S10・S32・H10改修 | もと材木商であった遠藤家の居宅で、札幌軟石と煉瓦（れんが）の塀で囲まれた敷地に、主屋、煉瓦造の蔵、石蔵2棟を配する。主屋は正面に玄関を構え、西側に内装洋風の応接室を配し、さらに座敷部や離れ座敷をずらして建て、北面には日常の居室部を連ねる、洗練された意匠を持つ上質な近代和風建築である。敷地周囲に重厚な趣の石塀や煉瓦塀をめぐらせ、南辺には風格ある一間薬医門の表門を開く。歓楽街すすきのの一画に位置し、歴史的なたたずまいをみせる。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 遠藤家住宅蔵 | | T8頃 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 遠藤家住宅南石蔵 | | T8頃 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 遠藤家住宅北石蔵 | | T8頃 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 遠藤家住宅表門 | | T8頃 | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 遠藤家住宅塀 | | T8頃 | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| するが 駿河屋宮田書店店舗兼主屋 | 茨城県常陸太田市 | 文化7（1810）/S20頃改修 | 街道沿いに位置する土蔵造の町家。前面につし2階のミセを建て、背後に並行した棟の座敷部を建てて接続する形式などに、地方的特色を示す。敷地内の土蔵とともに登録する。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 駿河屋宮田書店土蔵 | | M41頃/H24改修 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 旧稲田家住宅赤煉瓦蔵 <small>れんが</small> | 茨城県常陸太田市 | M43/H23改修 | 煉瓦造3階建の蔵で、黒漆喰（しっくい）仕上げで観音開きの扉などに高い左官技術を見せる。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 鹿沼市文化活動交流館石蔵（旧帝国繊維石蔵） | 栃木県鹿沼市 | T初/H14改修 | 石造平屋建、桁行55mを測る長大な蔵で、製麻産業の盛期を物語る遺構。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 田波家住宅主屋 | 栃木県小山市 | E末/M前・T15・S53改修 | 主屋は床上部を六間取平面として式台を構える、大型の民家建築。離れは東正面を式台とし、座敷に座敷飾りを設えるなど格式を備える。歌人田波御白（みしろ）の生家としても知られる住宅。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 田波家住宅離れ | | E末/S23頃改修 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 金子家住宅蔵 | 群馬県桐生市 | M20 | 織物会社社主の住宅で、生活の用に供した土蔵や倉庫のほか、切妻3連形式の旧鋸（のこぎり）屋根工場、糸染めに用いた旧染場、従業員の生活を伝える旧従業員宿舎などが保存されている。繊維産業で栄えた桐生市における、織物会社の様相をよく伝える。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 金子家住宅倉庫及び旧染場 | | S14/S27頃改修 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 金子織物株式会社旧鋸屋根工場 <small>のこぎりやね</small> | | S27 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 金子織物株式会社旧従業員宿舎 | | S前/S27移築 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 小林家住宅（旧小武織物有限会社）主屋 | 群馬県桐生市 | S6頃/S中改修 | 織物会社社主の住宅と工場施設。主屋北半の土間は工場と一体化し、床上部は当初部の四間取の南に座敷を増築する。工場は南北棟の切妻造建物4棟を並行させた形式とし、市内で多数を占める鋸屋根とは異なる屋根形式をもち、工場建築の一例を示す。敷地入口の両脇には紋紙などを納めた倉庫が並ぶ。敷地周囲には台風による渡良瀬川氾濫後に設けられた石垣と塀をめぐらせる。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 小林家住宅（旧小武織物有限会社）工場 | | S23/S29改修 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 小林家住宅（旧小武織物有限会社）倉庫一 | | S36 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 小林家住宅（旧小武織物有限会社）倉庫二 | | S37 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 小林家住宅（旧小武織物有限会社）石垣 | | S28頃 | | 工作物 | 産業2次 | 1 |
| 小林家住宅（旧小武織物有限会社）塀 | | S28頃 | | 工作物 | 産業2次 | 1 |
| 玉村八幡宮末社国魂神社（旧玉村尋常高等小学校奉安殿） <small>はちまん</small> | 群馬県佐波郡玉村町 | M43/S21移築 | もと玉村尋常高等小学校の奉安殿で、明治期に遡る木造奉安殿の遺例。 | 建築物 | 宗教 | 2 |

| 名 称 | 所在地 | 建設年代 | 特 徴 等 | 種 別 | 基 準 | |
|--------------------|---------|-------------------------|--|-----|------|---|
| 中村家住宅主屋 | 千葉県市川市 | M後/S前改修 | 旧街道の交差点近くに敷地を構える。千葉街道に北面する主屋は、正面軒を黒漆喰塗込めとして蛇腹をつくり、他は出桁造とする。主屋南後方には落ち着いたたずまいの2階建離れが接続する。北西角に建つ蔵は、イギリス積の煉瓦造2階建で、上部に雷紋風に飾るコーニスとペディメントを表す。主屋と離れの間には土蔵が建つ。主屋の東側に建つ北蔵及び事務所のうち、事務所は洗出し仕上げで石造風に化粧目地を施す洋風建築である。敷地内には、醸造業に使用した倉庫や、丁寧な造作の稲荷社、鉄筋コンクリート造の防空壕（ぼうくうごう）などが残る。敷地の北面は石造の門塀で画し、重厚で高い石塀が旧家の表構えに風格を添えている。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅離れ | | M後/S中改修 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅煉瓦蔵 | | M後 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅土蔵 | | M26 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅北蔵及び事務所 | | 北蔵 T後 事務所 S前 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅倉庫 | | 南倉庫 M中/S前移築 北倉庫 M後 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅稲荷社 | | M24 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 中村家住宅防空壕 ぼうくうごう | | S前 | | 工作物 | 産業2次 | 3 |
| 中村家住宅門及び石塀 | M後/S前改修 | 工作物 | 産業2次 | 1 | | |
| ささや 笹屋土蔵 | 千葉県流山市 | M31/H24改修 | 旧街道沿いの店舗裏に建つ土蔵で、鉢巻と腰を黒漆喰塗として外観を引き締める。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 清水屋本店店舗兼主屋 | 千葉県流山市 | M中/S8頃改修 | 旧街道に東面する2階建の和菓子店舗で、正面のモルタル塗看板や内部の円柱など、戦前の店舗建築の特徴を示す。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 細井家住宅主屋 | 東京都中野区 | 安政4（1857）/ S13・S29改修 | 区内での古例となる民家建築で、武蔵野の農家のたたずまいを遺す。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 功運寺庫裏 | 東京都中野区 | T8 | 庫裏は木造平屋建で、数寄屋意匠の方丈を有する丁寧な造作の近代和風建築である。鐘楼は方一間の吹放ち形式で高い石積基壇上に建ち、細部を豊かな彫刻で飾る。山門はケヤキの良材を多用し、施工も上質である。 | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 功運寺鐘楼 | | 寛延2（1749）頃/ T3移築 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 功運寺山門 | | T3/H22改修 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 三岸家住宅アトリエ | 東京都中野区 | S9/S33改修 | 画家三岸好太郎と節子夫妻のアトリエ。施主の感性和バウハウスで学んだ設計者の理念を具現化した、戦前の木造モダニズム建築。 | 建築物 | 住宅 | 2 |
| 坂井家住宅和館 | 神奈川県鎌倉市 | S2/S16頃改修 | 和館は南面に座敷を並べるほか、家政部分を広めるなど使い勝手に配慮がみられ、接続する洋館は上下階に洋間を配する。和洋館併設形式になる昭和初期のもと別荘建築。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 坂井家住宅洋館 | | S2 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 林家住宅主屋 | 神奈川県藤沢市 | S12/S33改修 | 外壁をハーフティンバーとする上質な意匠で、戦前の郊外型住宅の好例を示す。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 齋賀家住宅主屋 | 富山県南砺市 | E末/T・S後改修 | 井波別院瑞泉寺の参道に東面する上質な町家で、門前町の往時の景観を伝える。敷地内の土蔵をあわせて登録する。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 齋賀家住宅土蔵 | | S前 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 松風樓東棟 | 富山県南砺市 | M33/S前改修 | 小矢部川西岸に位置する料理旅館。東棟は、客室毎に趣向を凝らした造作を持つ、近代数寄屋建築である。西棟は、2階軒の漆喰蛇腹など当地の茶屋建築の特徴を示す。敷地背後の一の蔵は鳥居形の扉枠を黒漆喰塗で仕上げ、二の蔵は、角地の景観を整える。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 松風樓西棟 | | M33/S26頃移築・ S33頃改修 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 松風樓一の蔵 | | S前/S26頃移築 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 松風樓二の蔵 | | S前/S26頃移築 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 竹内源造記念館（旧小杉町役場庁舎） | 富山県射水市 | S9/S34改修・H25移築 | 木造2階建の旧役場庁舎。地元の左官職人竹内源造による質の高い鏝絵（こてえ）彫刻が特徴。 | 建築物 | 官公庁舎 | 3 |

| 名 称 | 所在地 | 建設年代 | 特 徴 等 | 種 別 | 基準 | |
|-------------------|------------|---------------------------------|---|-----|------|---|
| 春木屋洋品店（旧春木屋商店洋服部） | 石川県七尾市 | T10/S31改修 | 正面の柱形やコーニス、2階の半円アーチ窓など、洗練された洋風意匠をもつ店舗建築。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 徳運寺本堂 | 長野県松本市 | 嘉永6（1853）/S50改修 | 山裾に境内を占める曹洞宗寺院。方丈型の本堂は、八間取の室の前面に2間幅の広縁を通す大型の堂で、起りのある大屋根が風格を醸す。式台を介して、当地方に特徴的な本棟造民家に似た外観を持つ庫裏が接続する。また、山門及び高塀が境内正面の景観を引き締める。 | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 徳運寺庫裏 | | 安政3（1856）/H5改修 | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 徳運寺山門及び高塀 | | T9 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 下伊那教育会館 | 長野県飯田市 | S13/S56改修 | 飯田城下の武家地にあたる仲ノ町に建つ。会館は正面屋根の中央に腰折れ破風を設けて壁面を幾何意匠で飾る木造洋風建築で、地域のランドマークとして親しまれる。土蔵には幕末以降の教育資料を内部に納めていた。飯田藩の要職をつとめた黒須家の土蔵と門が残り、門はかつての武家地の景観を伝え、飯田藩政期の貴重な遺例となっている。 | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 下伊那教育会土蔵 | | S13 | | 建築物 | 文化福祉 | 1 |
| 下伊那教育会旧黒須家土蔵 | | M後 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 下伊那教育会旧黒須家門 | | E後 | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 芦澤第一号石積堰堤 | 長野県東筑摩郡麻績村 | M20 | 信濃川水系麻績川流域の芦澤に築かれた4基の石積砂防堰堤（えんてい）群。下流から、堤高4m内外の一号、二号、三号堰堤を配し、最上部に堤長約15m、堤高約7mの四号堰堤を築く。いずれも水通し部と袖部を直線的な構成によって明確に区別する近代的な立面形状をもち、信濃川水源砂防の歴史的景観に寄与している。 | 土木 | 治山治水 | 1 |
| 芦澤第二号石積堰堤 | | M20 | | 土木 | 治山治水 | 1 |
| 芦澤第三号石積堰堤 | | M20 | | 土木 | 治山治水 | 1 |
| 芦澤第四号石積堰堤 | | M20 | | 土木 | 治山治水 | 1 |
| 上の上田屋上田家住宅主屋 | 岐阜県中津川市 | M前/S初・H16改修 | 中山道落合宿に位置する町家。主屋は2階正面を出し梁（だしばり）で持ち出し、出格子をたてる。離れは、敷地の傾斜を活かして庭を見下ろす、瀟洒（しょうしゃ）な建物。街道に面する土蔵は、主屋とともに宿場町の景観を伝える。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 上の上田屋上田家住宅離れ | | M前/T・S後改修 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 上の上田屋上田家住宅土蔵 | | M37 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 千歳楼本館 | 岐阜県養老郡養老町 | M13/S36頃改修 | 養老公園の山際に建つ旅館建築。本館は2階に28畳の大広間を持つ瀟洒な木造建築である。流芳閣は外壁を赤色に仕上げ、室名と室内意匠等の調和が図られた数寄屋座敷。栖鳳閣はガラス障子などを多用し、外光を積極的に取り入れた室内空間を実現している。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 千歳楼流芳閣 | | T | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 千歳楼栖鳳閣 | | S初 | | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 徳川園黒門 | 愛知県名古屋市 | M32 | 尾張徳川家が明治33年に整えた本邸の遺構。黒門は薬医門形式で、軸部に木太いケヤキを使い、北に脇長屋を従える。本邸正面を飾るにふさわしい堂々とした容姿で、現在は徳川園の正門として、黒門の愛称で親しまれる。脇長屋の北東方には釣瓶（つるべ）井戸が残る。蓬左文庫旧書庫は、当家に伝来した書物を収めたもので、敷地内の土蔵2棟を接続して建てられた。蘇山荘は、木曽材の宣伝を目的に博覧会の迎賓館和館として建設された由緒をもち、木曽の良材をふんだんに利用し見応えがある。 | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 徳川園脇長屋 | | M33頃/S7・H16改修 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 徳川園塀 | | M33頃/H16改修 | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 徳川園釣瓶井戸 | | M33頃 | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 蓬左文庫旧書庫 | | S10/H16移築改修 | | 建築物 | 文化福祉 | 2 |
| 蘇山荘 | | S12/S12移築・H16改修 | | 建築物 | 文化福祉 | 2 |
| 徳川美術館山の茶屋 | 愛知県名古屋市 | M16/M27移築・S23・S34改修 | 山の茶屋は、掛込天井や砂壁、下地窓を採用し、部屋の隅を斜めに切るなど数寄屋の好みを表現し、大名庭園の面影を伝える。心空庵（しんくうあん）は銘木や奇木を多用し、数寄屋の趣向を凝らした草庵で、餘芳軒と餘芳軒東屋は市内の素封家宅から移築された風雅な施設。 | 建築物 | 住宅 | 2 |
| 徳川美術館心空庵及び餘芳軒 | | 心空庵 T3/T3・S6・S37移築 餘芳軒 S中/S48移築 | | 建築物 | 住宅 | 2 |
| 徳川美術館餘芳軒東屋 | | S中/S48・S62移築 | | 建築物 | 住宅 | 2 |

| 名 称 | 所在地 | 建設年代 | 特 徴 等 | 種 別 | 基準 | |
|--------------------------|-----------|--------------------|---|-----|------|---|
| 西駒屋田村家住宅主屋 | 愛知県豊橋市 | M後 | 東海道二川宿に位置する町家で、醸造業を営んでいた。主屋は上下階とも軒を出桁造とし、宿場の風情を醸す。敷地内の土蔵とともに登録する。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 西駒屋田村家住宅土蔵 | | M後 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 日本多家住宅主屋 | 愛知県岡崎市 | S6/H24移築 | 正面に3連アーチをつくり、半円平面の日光室などに縦長窓を並べ、洋風の外観をみせる。洋風生活の浸透の中で和室を調和よく取り入れた住宅の好例。 | 建築物 | 住宅 | 2 |
| 財賀寺本堂 | 愛知県豊川市 | 文政6(1823)/S3・S後改修 | 山中に伽藍(がらん)を構える真言宗寺院。本堂は五間堂で、外陣の天井を桁行の三間梁で支持する架構に地方的特色を示す。三十三観音堂は奥一間に仏壇を造作して三十三観音をまつる。内陣に護摩壇を設ける文殊堂とともに、地域信仰の様相を伝える。 | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 財賀寺三十三観音堂 | | 寛政12(1800) | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 財賀寺文殊堂 | | 安政6(1859) | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 八所神社本殿 | 愛知県豊川市 | 享保9(1724) | 財賀寺本堂後方に境内を開く、もと同寺の鎮守社。本殿は一間社流造で、小規模で簡素ながら、江戸時代中期の姿をよく留め、拝殿とともに神仏習合の名残を伝える。 | 建築物 | 宗教 | 2 |
| 八所神社拝殿 | | 文政9(1826) | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 明眼院旧多宝塔 | 愛知県海部郡大治町 | 慶安2(1649)/M中・S45改修 | 方三間の多宝塔であったが、濃尾地震後に上層を欠失した。尾張地方に多く残る多宝塔の遺例の一つ。 | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 麻野館玄関棟 | 三重県伊勢市 | M28/T11頃改修 | 二見旅館街の中ほどに位置する旅館建築。玄関棟は街道沿いに入母屋造(いりもやづくり)の外観を見せ、正面西寄りに切妻破風の本玄関を付すなど、二見の和風旅館の特色を示す。広間棟では建具や欄間などに精緻な細工を見せる。土蔵とあわせて登録する。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 麻野館広間棟 | | M28/S12頃改修 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 麻野館土蔵 | | T10 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| とろりんかん 桐林館(旧阿下喜小学校校舎) | 三重県いなべ市 | S12/S58移築 | 桐林館は、外観や内部造作とも旧規をよくとどめる戦前の木造小学校校舎。旧校地の南辺に残る石造の門と石柵が往時の面影を伝える。 | 建築物 | 学校 | 1 |
| 旧阿下喜小学校門及び石柵 | | M後/T10・T15改修 | | 工作物 | 学校 | 1 |
| 寺村家住宅主屋 | 滋賀県彦根市 | S13 | 和室中心の住宅で、応接間や階段まわりなどはヴォーリズらしい瀟洒な意匠でまとめられる。 | 建築物 | 住宅 | 2 |
| ヴォーリズ記念病院旧本館(ツッカーハウス) | 滋賀県近江八幡市 | T7/S9改修 | 内外の意匠にヴォーリズの作風を示す建物で、病室のおかれた2階の開口を広めて通風採光に配慮するなど、もと結核病棟としての特徴も備える。 | 建築物 | 文化福祉 | 2 |
| 旧一圓家住宅主屋 | 滋賀県犬上郡多賀町 | 安政4(1857)/M24改修 | 一圓集落の名主格であった家の住宅。主屋の平面は六間取系で、鍵の手に座敷を並べて要所に座敷飾を備え、正面中央に式台を構える。文庫蔵は主屋の内蔵として使用された。米蔵や、雑蔵及び木蔵が屋敷構えを成し、旧家の格式を伝える。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 旧一圓家住宅文庫蔵 | | M前 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 旧一圓家住宅米蔵 | | E末 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 旧一圓家住宅雑蔵及び木蔵 | | E末 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 青木家住宅主屋 | 京都府京都市 | S5 | 高塀の中に建つ主屋は洋間と和室棟からなり、近代的な住宅思潮と数寄屋意匠とを兼備する。敷地奥では、主屋と向き合う土蔵が良質な庭空間を創る。 | 建築物 | 住宅 | 2 |
| 青木家住宅土蔵 | | S5 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 日新電機嵯峨野荘本館 | 京都府京都市 | S7 | もと料亭建築で、本館の大広間では唐破風形の天井を採用したり、折上格天井を張るなど上質なつくりとする。附属する3階建の土蔵をあわせて登録する。 | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 日新電機嵯峨野荘土蔵 | | S7 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 新居家住宅主屋 | 京都府京都市 | T15/S前改修 | 創意に満ち、洗練された和洋の意匠に見応えのある、戦前の洋間付郊外住宅。 | 建築物 | 住宅 | 1 |

| 名 称 | 所在地 | 建設年代 | 特 徴 等 | 種 別 | 基準 | |
|-------------------|--------|------------------|--|-----|------|---|
| 西教寺本堂 | 大阪府和泉市 | 文化5(1808)／T頃改修 | 住宅地に境内を構える浄土真宗寺院。境内中央に南面する本堂は、内陣や内外陣境を彫刻や極彩色で華やかに荘厳し、時代的特色をよく示す。本堂左手には式台玄関及び書院が接続し、式台は正面内法に箴（おさ）欄間をたて、虹梁（こうりょう）絵様や墓股（かえるまた）を波紋や雲紋として飾り、格天井を張って風格を示す。本堂後方に建つ上書院は、2階の奥室を上段の間として座敷飾を備える。本堂前庭の手水屋は、小規模ながら建築的細部を丁寧に仕上げる。境内正面には築地塀をめぐらし、大門を開き、正面に石造門柱と鉄柵を設ける。境内東辺南端には東門を開き、隣に建ちの高い鐘楼を配する。土蔵造の経蔵は軒先まで漆喰で塗込め、堅実な左官仕事を見せる。境内北東隅には太鼓楼が建ち、真宗寺院の伽藍景観を特徴付ける。太鼓楼と経蔵の間には一間薬医門の北門を開く。江戸後期から戦後にかけて連綿と整えられた堂宇が、市街地に歴史的なたたずまいを創る。 | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺式台玄関及び書院 | | 安政6(1859) | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺上書院 | | M中／S改修 | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺手水屋 | | 文化13(1816)頃 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺大門及び築地塀 | | M後 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺門柱及び鉄柵 | | M31／S中改修 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺鐘楼 | | M32頃 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺経蔵 | | M24頃 | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺太鼓楼 | | S37 | | 建築物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺東門 | | M後 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| 西教寺北門 | | S前 | | 工作物 | 宗教 | 1 |
| カトリック豊中教会聖堂及びヨゼフ館 | 大阪府豊中市 | S14 | 三廊式平面の聖堂は、屋根を入母屋造とするほか、丸太柱や格天井の採用など和風意匠を積極的に取り入れる。同様の技法をもつ司祭館とともに静謐（せいひつ）な空間を創出している。 | 建築物 | 宗教 | 2 |
| カトリック豊中教会司祭館 | | S14／S中・H11・H15改修 | | 建築物 | 宗教 | 2 |
| 榎原家住宅主屋 | 大阪府豊中市 | E末／H12改修 | 榎原家は近世小曾根村で庄屋（しょうや）を務めた。主屋は中の間前面に式台を構え、奥座敷に上質な座敷飾を備えるなど庄屋の格式を伝える大型民家である。主屋北側に建つ離れは、西奥を八畳主室として座敷飾を設け、南西面に数寄屋風を加味した縁をめぐらせる。敷地の北側西寄りには土蔵が3棟並ぶ。いずれも丁寧な土蔵造で旧家の屋敷構えを引き立てている。主屋前面では、露地門とその左右にのびる塀が庭を東西に区画し、主屋背面には庭門を設ける。また敷地の周囲を囲む外塀は、水禍に対する屋敷の保全を担った塀で、集落の歴史的景観に寄与する。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅離れ | | E末 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅土蔵一 | | E末 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅土蔵二 | | E末 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅土蔵三 | | E末 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅露地門及び塀 | | T | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅庭門及び塀 | | T | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 榎原家住宅外塀 | T | 工作物 | 住宅 | 1 | | |
| 嶋田家住宅玄関書院 | 大阪府松原市 | M後 | 玄関書院は主屋前面に独立して建つ。座敷のトコに丸窓を開け、落掛を斜めに振るなど独特な意匠の数寄屋で、大阪近郊の近代邸宅の一例を示す。奥座敷棟は、竹の落掛など、数寄屋を加味し、洗練された意匠の離れ座敷である。道具蔵の躯体（くたい）は校木（あぜき）を積む井籠組とする。大門は雄大かつ重厚で風格を備える。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 嶋田家住宅奥座敷棟 | | M20頃 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 嶋田家住宅道具蔵 | | M前 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 嶋田家住宅大門 | | M後 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 五助堰堤 | 兵庫県神戸市 | 本堰堤 S32 副堰堤 S33 | 住吉川上流の五助谷に位置する重力式コンクリート造の堰堤で、表面を花崗岩（かこうがん）積とする。 | 土木 | 治山治水 | 3 |
| 杉谷堰堤 | 兵庫県神戸市 | S31 | 重力式コンクリート造で、水通し中央部にスリットを設けた先駆的な砂防堰堤。 | 土木 | 治山治水 | 2 |
| 神戸ゴルフ倶楽部クラブハウス | 兵庫県神戸市 | S7／S29・S59改修 | クラブハウスは下見板張の外壁に上げ下げ窓や扉を配し、内部ではタイル貼の暖炉を設け、壁に高い腰パネルを張るなど洗練された意匠になる。宿泊棟のチェンバーとともに登録する。 | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 神戸ゴルフ倶楽部チェンバー | | T13／S28・S49改修 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 三木屋東館 | 兵庫県豊岡市 | S2／S中・S47改修 | 城崎温泉の旅館建築。東館は3階建、西館は2階建で、端正な意匠を見せる。大正14年北但地震後の城崎温泉復興期の姿を良く留める。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 三木屋西館 | | S2／S中・H25改修 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |

| 名 称 | 所 在 地 | 建 設 年 代 | 特 徴 等 | 種 別 | 基 準 | |
|------------------|-------------|-------------------|--|-----|------|---|
| 吉田家住宅主屋 | 奈良県奈良市 | S7/S中・S47頃・H24改修 | 奈良町の街路に面する町家。主屋は戦前期の建築ながら建ちが低く古式で、内部は丁寧な造作になる。店舗は主屋の北に並び、奈良町の歴史的景観に寄与する。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 吉田蚊帳店舗 | | E末/S中・S47頃・H10頃改修 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 旧川本家住宅本館 | 奈良県大和郡山市 | T13 | 本館は街路に東面する木造3階建て正面に繊細な意匠の格子をたて、上階の客室は色土壁に釣トコを備える。西に接続する座敷棟は居間や茶室などからなり、南面の壁に猪目（いのめ）形の透かし窓を開く。敷地内には蔵及び納屋も残す。歓楽街の風情を伝える、もと妓楼（ぎろう）の建物。 | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 旧川本家住宅座敷棟 | | T13/S前・S中改修 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 旧川本家住宅蔵及び納屋 | | T11 | | 建築物 | 産業3次 | 1 |
| 堀河屋又兵衛家住宅主屋 | 和歌山県御坊市 | E末/S前改修 | 日高御坊の寺内町中心部に位置する町家。本瓦葺（ほんがわらぶき）の主屋は前面に出格子をたて、軒先に当地でオダレと呼ぶ幕板を設ける。土蔵とともに寺内町の歴史的な景観を構成する。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 堀河屋又兵衛家住宅土蔵 | | S5頃 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 堀河屋野村店舗兼主屋 | 和歌山県御坊市 | E末/M中改修 | もと廻船（かいせん）問屋で、現在は醤油（しょうゆ）醸造を手がける。店舗兼主屋は、軒高が低く、座敷部分に出格子をたて、木部にベンガラを塗るなど、当地の近世町家のたたずまいを伝える。敷地内には、醸造関係の道具などを納めていた土蔵、第一仕込蔵、第二仕込蔵、作業蔵など、醤油醸造所の景観を特徴付ける建物が一連で残る。 | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 堀河屋野村土蔵 | | E末/S28頃改修 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 堀河屋野村第一仕込蔵 | | E末 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 堀河屋野村第二仕込蔵 | | T前 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 堀河屋野村作業蔵 | | E後/S前増築 | | 建築物 | 産業2次 | 1 |
| 大江家住宅大蔵 | 和歌山県日高郡みなべ町 | M前 | 旧熊野街道沿いに位置し、すでに登録文化財となっている主屋の後方に大蔵と東蔵が並び建つ。大蔵は桁行9間の規模をもち、酒造の歴史を伝える大型土蔵である。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 大江家住宅東蔵 | | E末/M後改修 | | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 木島家住宅主屋 | 鳥取県八頭郡若桜町 | M20頃/H24改修 | 若桜街道に面して建つ、瀟洒な座敷を持つ住宅で、前面をカリヤと称する通路とする。 | 建築物 | 住宅 | 1 |
| 金光学園中学高等学校記念講堂 | 岡山県浅口市 | M37/S31移築 | 寺社建築の要素と洋風意匠を融合したデザインに特徴のある学校講堂。 | 建築物 | 学校 | 2 |
| 門司ゴルフ倶楽部クラブハウス南棟 | 福岡県北九州市 | S35 | クラブハウスはレーモンド建築設計事務所の設計になる。南棟は、開放的で水平線を強調した立面など、いわゆるレーモンドスタイルが遺憾なく発揮されたモダニズム作品。北棟、スタートハウスとともに登録する。 | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 門司ゴルフ倶楽部クラブハウス北棟 | | S35 | | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 門司ゴルフ倶楽部スタートハウス | | S35 | | 建築物 | 産業3次 | 2 |
| 碧雲荘（旧熊本家住宅）主屋 | 長崎県壱岐市 | S16 | 港を望む高台に建つ実業家の住宅。主屋は中庭の周囲に広間や数寄屋座敷を配する材工とともに優れた上質な和風建築である。門は大型の腕木門で主屋前面に雄大な構えを見せる。敷地南辺に築かれた石垣は最大高さ約10mと威容を誇る。 | 建築物 | 住宅 | 2 |
| 碧雲荘（旧熊本家住宅）門 | | S16頃 | | 工作物 | 住宅 | 1 |
| 碧雲荘（旧熊本家住宅）石垣 | | S15 | | 工作物 | 住宅 | 1 |

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。